


菅北小学校

所在地	〒530-0031 北区菅栄町9-5	
電話番号	06-6358-1851	
校長名	林 幸男	
URL	http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e511007	

教育目標

【学校教育目標】
未来を切り拓くための「生きる力」を育てる

【めざす子ども像】
「自ら学ぶ子(知)」
「助け合う子(徳)」
「健康でたくましく生きる子(体)」

沿革

大正11年 3月	大阪市済美第六尋常小学校として開校
大正14年 3月	大阪市済美第六尋常高等小学校と校名変更
昭和16年 4月	大阪市菅北国民学校と校名変更
昭和22年 4月	大阪市立菅北小学校と校名変更
平成 2年 1月	大阪市教育委員会研究学校(生活指導)
平成 3年12月	大阪市小学校教育研究会委嘱校研究発表会(道徳)
平成 9年10月	第35回全国社会科研究協議会大阪大会
平成11年 2月	大阪市小学校教育研究会特別活動部研究発表会
平成13年 2月	大阪市小学校教育研究会特別活動部研究発表会
平成19年11月	文部科学省国語力向上モデル事業一年次中間報告会
平成20年11月	文部科学省国語力向上モデル事業二年次最終報告会
平成23年11月	創立90周年記念式典挙行
平成24年10月	全国学校体育研究大会にて学校体育研究優良校表彰
平成29年 2月	大阪市小学校教育研究会生活・総合部研究発表会
令和 3年11月	創立100周年記念式典挙行

学校運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】
○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
○前年度の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
○年度内の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】
○小学校学力経年調査における「学級における友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、30%以上にする。
○小学校学力経年調査における国語及び算数の正答率の全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント向上させる。
○小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対し、肯定的に答える児童の割合を75%にする。
○小学校学力経年調査における「運動やスポーツすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と答える児童の割合を60%にする。

【学びを支える教育環境の充実】
○授業日において学習用端末を毎日2回以上使用する。
○家庭学習で、タブレットを活用した学習活動を定着化する。
○放課後の読書タイムやブックサポートなどを使って読書に親しみ、読書通帳を活用して読書意欲を高める。校内調査「本を読むことが好き」に対して肯定的に答える児童の割合を高める。
○令和7年度末までに、持ち帰りの校務パソコンを使ったテレワークやテストの採点などを含めた残業時間を月に45時間以下にする(努力目標)
○教職員が身体的、精神的に健康な状態で余裕をもって児童にかかわることができるように「ゆとりの日」を週に1日設定する。

【※詳細は学校ホームページをご覧ください】



令和3年度全国学力・学習状況調査の結果

大阪市教育委員会では、令和3年度「全国学力・学習状況調査」については、調査参加学年が単学級の学校の校長は、調査結果及び調査結果から明らかになった現状等を公表しないことができるものとしており、本校では、平均正答率を含む調査結果は公表いたしません。

■結果の概要・取組の成果と課題
令和3年度は、国語・算数ともに、平均正答率を見ると、全国・大阪市の平均を下回っていた。正当数分布グラフを見ると、上位層が非常に少なく、低位層が多い結果となった。また、分布の山を比較すると、全国・大阪市と比べて中央値が低くなっていた。さらに、無解答率も高く、全体の40%となる問題もあった。
【国語】正答数分布グラフや正答数集計値を見ると、全体的に学力に課題があることがわかった。問題別で見ると、「書くこと」の正答率が全国・大阪市と比較して特に低く、問題形式から見て、記述式の問題の無解答率が高かった。また、漢字や文法など「言葉の特徴や使い方に関する事項」についても無解答の割合が高く、基本的な学力の定着に課題があった。
【算数】国語と同様に全体的な学力課題が明らかになった。問題別では、「数と計算」「図形」が全国・大阪市と比較して特に低く、基礎的な学力についての課題が見られた。また、国語と同様に、記述式の問題の無解答率が非常に高く、粘り強く問題に取り組むことが難しいことがわかった。
児童質問紙では、令和3年度については、基本的な生活習慣に関する項目である「睡眠」「朝ごはん」についてできていないと回答した児童が、全国・大阪市と比較して、10%ほど低かった。また、「1日のゲーム時間」の項目では、3時間以上という児童が、全国・大阪市と比較して15%以上多かった。児童の意識を尋ねた項目では、「自尊感情を尋ねた項目」や「物事をやり遂げているかを尋ねた項目」で肯定的に回答した児童が全国・大阪市より10%以上低く、これまで本校で課題として挙げられていた項目が改善されなかった。しかし、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」では92.7%の児童が肯定的に答えていた。また、「国語の勉強は好きですか」「国語の授業の内容はよく分かりますか」の項目では、肯定的な回答をする児童が、それぞれ68.3%と92.7%となっており、これは、全国・大阪市と比較すると大きく上回っていた。また、読書時間については、全国・大阪市よりも多いという結果が出た。
次年度は、学力についての学校としての取組をこれまで以上に進め、基礎基本の学力向上を図るとともに、言語活動の充実をめざす授業研究を深めていく。また、言語活動の基礎となる読解力等を身につけ、豊かな心を育むことができる読書環境を充実させる。さらに、学びに向かうための自尊感情を高めるために、たてわり班活動などの自己有用感を高める取組を積極的に行っていく。

令和3年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果

大阪市教育委員会では、令和3年度「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」については、調査参加学年が単学級の学校の校長は、調査結果及び調査結果から明らかになった現状等を公表しないことができるものとしており、本校では、種目別平均値を含む調査結果は公表いたしません。

■結果の概要・取組の成果と課題
今回は、50m走について記録が取れなかったため、体力合計点の結果が出なかったが、男子は実施した7種目中4種目で、女子は2種目で全国平均を上回った。男女ともに筋力と柔軟性について向上し、課題としては、持久力が挙げられた。また、女子はコーディネーションについても課題があった。児童質問紙の項目「運動が好き」の回答状況は、男子が全国と同程度だったが、女子は全国と比べて10%ほど肯定的な回答が少なかった。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合を見ると、男女ともに全国より10%多かった。本校の課題である自尊感情については、今回のアンケートでも、全国・大阪市と比べて低く、女子は25%以上差があった。また、もう一つの課題である、スマホなどの視聴時間については、男子で1日4時間以上視聴している児童の割合が高かった。
今回の結果から、コロナ禍で実施してきた学級や学校全体の取組が結果として表れ、体力の向上が見られた種目があった。しかしながら、持久力については課題があり、児童の運動時間を増やすことに取り組む必要がある。本校は、放課後や休日に習い事として運動やスポーツをする児童が少ないという実態がある。そこで、休み時間や放課後に、児童が進んで外に出て、体を動かすような取組を進めていく。今回のアンケート結果からは、体育の授業が楽しいという児童は全国と比較して大きな差異はなかった。その中で、運動が好きと回答した児童は、その理由として、「体を動かすとすっきりした気分になる」「友達や仲間と一緒に活動できる」という項目を選択していた。体育の授業の中で、だれもが運動の心地よさを感じられる実践を行うとともに、体育の授業中の言語活動を充実させていく必要がある。また、仲間とともに活動する楽しさから運動の楽しさへとつなげていくために、学級でのみんな遊びなどを行い、進んで運動する児童を育て、体力向上や健康の保持増進につなげていく。

標準服

半袖オープンシャツ (ベージュ色・校章入り) ※白ポロシャツも可、 半ズボン(茶色)	半袖ブラウス (ベージュ色・校章入り) ※白ポロシャツも可、 スカート(茶色)	上衣(茶色)、 長袖オープンシャツ (ベージュ色・校章入り)、 半ズボン(茶色)	上衣(茶色)、 長袖ブラウス (ベージュ色・校章入り)、 スカート(茶色)
夏帽子(ベージュ色・校章入り)		冬帽子(茶色・校章入り)	

未来を切り拓くための「生きる力」を育てる菅北小の教育



自ら学ぶ子

従来からの知識を授ける伝達型の授業ではなく、変化の激しい社会を生き抜くために、主体的・対話的で深い学びを追求します。また、学習内容に応じた効果的な学習形態(個別学習や一斉学習、ペア学習やグループ学習等)を工夫することで、考えを深めたり広げたりできるように工夫しています。学校生活全般における言語活動を充実させるために、「読書通帳」を導入し、読書活動にも力を入れています。



助け合う子

日々の授業において共に学び合う協働的な学習を進めるとともに、さまざまな学校行事を通し、助け合う子の育成に取り組んでいます。また、国際社会において必要とされる多様性を認め尊重する態度を育成するため、国際理解教育にも力を入れています。

健康でたくましく生きる子

健康でたくましく生きる子どもを育てるために、基本的な生活習慣の確立に力を入れています。また、進んで運動する子どもを育てるために、学校生活全般を通じて、体を思い切り動かして遊ぶ楽しさを体感させるよう工夫しています。

特色ある取組

なかよしファミリー

1~6年生で縦割り班(なかよしファミリー)を編成し、異年齢集団によるさまざまな活動を行うことで、上級生には下級生の世話をする思いやりの心を、下級生には上級生に対する感謝とあこがれの気持ちを育みます。児童会活動の「菅北ランド」や「全校遠足」も「なかよしファミリー」で実施しています。

キャリア教育

一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育成することを通して、キャリア発達を促します。総合的な学習や卒業遠足での職業体験、天神橋筋商店街で実際にお店を出す「キッズマーケット」などを行っています。

ジュニアバンド

本校は、北区の小学校で唯一、金管バンドを有します。創設42年となるバンドで、運動会の開会式で生演奏したり、定期演奏会や北区民カーニバル・菅北サマーカーニバルに出場したりします。大阪市長表彰も受けたことがある歴史と伝統のあるバンドで、親子2代にわたって参加しているというご家庭もあります。

読書に関する取組

児童の読む力や書く力を伸ばすため、また、豊かな心を育むために、学校図書館の充実や読書好きの児童を育てる取組をしています。毎週月曜日にはボランティアによるブックサポートの読み聞かせや図書館開放、読書の履歴が残る読書通帳の取組を続けています。今年度は、火曜日から金曜日まで、図書館司書の方が常駐し、児童の読書活動だけでなく、調べ学習などでも支援をもらっています。

その他 主な学校行事



滝川小学校
堀川小学校
中津小学校
大淀小学校
豊崎本庄小学校
豊崎小学校
豊崎東小学校
豊仁小学校
西天満小学校
菅北小学校
扇町小学校